

令和 6 年度デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ) 事業について

令和 7 年度第 1 回鉾田市まち・ひと・しごと創生有識者会議

デジタル田園都市国家構想交付金について

デジタル田園都市国家構想交付金の概要



- デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、「デジタル田園都市国家構想交付金」により、各地方公共団体の意欲的な取組を支援。

デジタル田園都市国家構想交付金

デジタル実装タイプ

- デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費などを支援。

書かない窓口



地域アプリ



遠隔医療



地方創生拠点整備タイプ

- 観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備などを支援。

道の駅に隣接した観光拠点



子育て支援施設



スタートアップ支援拠点



地方創生推進タイプ

- 観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組などを支援。
- ・ 地方版総合戦略に位置付けられた地方公共団体の自主的・主体的な取組を支援（最長5年間）
 - ・ 東京圏からのUIターン促進及び地方の担い手不足対策
 - ・ 省庁の所管を超える2種類以上の施設（道・污水处理施設・港）の一体的な整備

地域産業構造転換インフラ整備推進タイプ

- 産業構造転換の加速化に資する半導体等の大規模な生産拠点整備について、関連インフラの整備への機動的かつ追加的な支援を創設。

大規模生産拠点
整備プロジェクト

選定

プロジェクト
選定会議

令和6年度鉾田市地方創生推進事業について

■事業概要

- 事業名：「農業と観光のハーモニー」 DAPPE project
- 事業期間：令和2年度～令和6年度
- 事業目的：
 - ・農業・農産物を活用した観光コンテンツの創出
 - ・地域ブランドを生かした商品開発・販路拡大
 - ・マーケット・イン思考な農業の確立による地域の「稼ぐ力」の向上と雇用の創出
 - ・都市部の若者や女性をターゲットにした移住促進及び関係人口の創出

■KPIの進捗状況

KPI（重要業績評価指標）	基準値	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	目標値 (令和6年度)	現在の 達成率
① 観光入込客数	事業実施前 1,069,100人	令和2年 829,900人	令和3年 850,900人	令和4年 1,012,600人	令和5年 951,000人	令和6年 857,000人 ※速報値	1,319,100人	65.0%
② 滞在人口率	事業実施前 0.979倍	令和2年 1.038倍	令和3年 1.028倍	令和4年 1.006倍	令和5年 未判明	令和6年 未判明	1.079倍	93.2%
③ 農業産出額	事業実施前 754.1億円	令和2年 640.0億円	令和3年 641.4億円	令和4年 656.0億円	令和5年 677.0億円	令和6年 未判明	779.1億円	86.9%
④ この事業により創出される 「関係人口」数	事業実施前 0人	令和2年度 9人	令和3年度 95人	令和4年度 104人	令和5年度 297人	令和6年度 502人	260人	193.1%

※②滞在人口率について、国からのデータ公表がなくなったため、未判明となっている。

※③農業算出額について、令和6年度実績が令和8年3月頃に公表されるため、未判明となっている。

※実績値が未判明の場合、直近の判明している実績値をもとに達成率を算定

■「農業と観光のハーモニー」DAPPE project 実施事業

①販路拡大支援事業 （資料3）

【KPI：農業産出額】

海外でのメニューフェアの開催やライブコマース・小売店による販売により、市農産物の魅力を海外に発信する。また、販路拡大を図る生産者の確保やスマート農業の推進を行う。

②（一社）鉾田市観光物産協会運営事業 （資料4）

【KPI：観光入込客数・滞在人口率・「関係人口」数】

鉾田市観光物産協会が主体となり、市内直売所の運営に取り組むほか、鉾田市独自の商品開発や首都圏での農産物PRにより市内の観光・物産の振興を行う。また、農業と観光を掛け合わせた事業展開により交流人口・関係人口の創出・拡大を図る。

③地域魅力発信（シティプロモーション事業） （資料5）

【KPI：観光入込客数・滞在人口率・「関係人口」数】

鉾田市の特産品を題材にしたPR動画の作製や各種イベント、各種メディアへ積極的な発信を行い、地域の魅力を広く市外部へ発信する。

■「農業と観光のハーモニー」DAPPE project の効果検証について

事業の効果検証における評価のポイント

○事業の評価

- ・事業実施がKPI達成に寄与したか評価ください。
(KPI：①観光入込客数②滞在人口率③農業産出額④関係人口数)
- ・KPI達成に、有効/有効でないと評価した理由について、率直な意見をご記入ください。

○実績値を踏まえた事業の今後について

- ・事業の取組内容が今後の鉾田市の人口減少対策や地域経済の活性化などに有効な取組として拡大・継続すべきか、または改善・廃止すべきか評価ください。
- ・上記と評価した理由について、率直な意見をご記入ください。

氏 名

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)に係る事業評価シート

事業名		「農業と観光のハーモニー」DAPPE project (市単独)
事業の評価	評価 ※どちらか一方の番号に Oしてください。	1 取組事業がKPI達成に有効であった
		2 取組事業がKPI達成に有効とは言えなかった
	評価に対する 意見・理由	
実績値を踏まえた事業の 今後について	今後の方針 ※いずれか1つの番号に Oしてください。	1 事業が効果的であったことから、取組みの追加等、更に発展させるべきである (事業拡大)
		2 特に見直しの必要がなく、今後も事業を継続すべきである (事業継続)
		3 事業内容の見直し(改善)を行うべきである
		4 事業実施を中止すべきである
	上記の方針を 選んだ理由・意見	